

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会			代表者名	会長 大橋 一夫
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策推進部デジタル推進課	連絡先電話番号	0773-66-1092
担当者役職	係長	担当者氏名	瀬野 公哉	連絡先E-mail	
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	舞鶴市	連絡先部署	政策推進部デジタル推進課		
担当者氏名	谷 直樹	連絡先電話番号	0773-66-1092	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	GoogleソリューションとGeminiを活用した業務改革		
概要	単なるツール導入に留まっている現状を打破し、デジタルを武器に市民の中へ入っていく「機動力」と、住民のデジタル自立を支援する「伴走力」を養うための企画会議（ハッカソン）を行う。Googleソリューションの先進事例やGemini活用法を学び、業務時間を圧縮して地域活動へシフトするためのノウハウや手法の助言をいただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 生成AI活用 働き方				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月9日	講演&フォローアップ(実地)	9時30分	17時00分	60
			活動時間（分）	390	
2-2. 派遣場所	会場名	舞鶴赤れんがパーク	最寄駅	JR東舞鶴駅	
	所在地	京都府舞鶴市字北吸1044番地	最寄駅からの交通手段	タクシーで5分	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	GeminiやNotebookLMについて、わかりやすい言葉で説明いただいた。また、我々と同じ市職員の立場で事例紹介等も含めてお話しいただいたため、理解・協調・納得できる点も多く、大変良かった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。今後ともよろしく願いいたします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	50人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	50	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和7年2月にchromebook及びGWSを全庁導入し、約1年経った現在、基本的な機能（chat、カレンダー、メール）については定着しつつある。しかし、GeminiやNotebookLMについては、一部の感度の高い職員を除き、業務への実装が進んでいない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	GeminiやNotebookLM等の生成AIを活用した業務の進め方について、実際に操作をしながら学び（ハンズオン）、自分たちが抱える課題に対して生成AIを活用した解決策を創出する体験（アイデアソン）を経て、日ごろの業務に対する

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 生成AI『Gemini』『NotebookLM』の使い方、プロンプト文の工夫。 各業務で抱えている課題に対しての生成AIを活用した解決方法 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	アイデアソンにて、各グループごとにGeminiやNotebookLMを活用した解決策が示されたことで、「今、自分たちがしている業務は本当に人がしないといけないのか」という根本的な問いが生まれ、業務の抜本的な見直しや廃止を含めた業務改革を検討するマインドセットが醸成された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 活用方法等について学ぶことができたため、今後、生成AIを利用することへの意識のハードルは下がったと思われる。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別途、アンケート結果を添付	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIを活用し、業務を効率化することで職員のリソースを確保。 創出された時間を活用し、職員が地域へ飛び出す時間を増やす。 場所にとらわれない働き方を通じ、住民との物理的・心理的接点を増やすことで、地域課題の把握や解決につなげる。 	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子**がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

